

水・大気環境局水環境課  
地下水・地盤環境室

1. 事業の概要

中国では、近年、下水道等の汚水処理施設や工場排水処理施設の未整備による水質汚濁や工場などの破損に伴う水質事故、水需要の増大による水不足等の水環境問題が深刻化しており、特に飲用水源等の水質保全が喫緊の課題となっている。このため、水環境分野における国際貢献の視点から、平成18年度より日中共同で中国の水質汚濁の原因分析等に係る調査、水環境に係る課題の要因分析及び対処方策の検討を開始したところである。

このような状況の中、平成19年4月の日中環境保護協力の強化に関する共同声明においても、河川・湖沼・海洋・地下水に係る水質汚濁防止に関する協力が盛り込まれたことを受け、平成20年度以降は、19年度までの実態調査結果等を踏まえ、重要水域における飲用水源地周辺等に適した水環境管理体系の整備やモデル事業による現地に適応可能な優れた水管理技術等の普及促進方策等を検討することにより、中国における河川、湖沼、地下水等の水環境保全を図る。

(注) 活用し得る日本発の水環境管理技術の例：水域別の総量規制、合併処理浄化槽技術、コミュニティプラント、膜による汚水処理技術など

2. 事業計画

調査項目	H20	H21	H22	H23
・水環境管理体系、水環境保全モデル事業実施計画策定	→			
・モデル地区における水環境保全整備事業			→	
・水環境保全整備事業結果の解析及び波及効果の把握				→

3. 施策の効果

本事業により、中国における水環境保全の推進に加え、日中の環境協力強化が図られる。また、日本発の環境技術等が中国で普及されることにより、我が国における環境技術開発が促される。

4. 備考

調査費 191百万円

- (内訳) ・水質汚濁物質削減及び水環境管理のあり方検討 66百万円
- ・分散型生活排水処理技術導入モデル事業 110百万円
- ・日中水環境セミナー 15百万円

外国旅費 4百万円

- 日本の経験と智慧を活かした国際協力 -

## 日中水環境パートナーシップ

平成19年4月の日中環境保護協力の強化に関する共同声明において水質汚濁防止に関する協力が盛り込まれたことを受けて、低コストな分散型排水処理施設や浄化槽などの水管理技術に係る適用可能モデル事業を行い、現地に合った水環境管理体系を構築する日中水環境パートナーシップを推進する。

### 中国における水環境問題の現状・課題

下水道等の污水处理施設や工場排水処理施設の未整備による水質汚濁  
工場などの突発事故に伴う水質汚染  
水需要の増大による河川流量不足 等

水環境問題が深刻化



「国民経済と社会発展第十一次五年計画」  
(2006年3月策定)

【目標】化学的酸素要求量(COD)等  
主要汚染物質の10%総量削減

日本国政府及び中華人民共和国政府による環境保護協力の一層の強化に関する共同声明(平成19年4月)

「一、飲用水源地保護を強化し、河川・湖沼・海洋・地下水の汚染を防止し、特に渤海、黄海区域及び長江流域などの重要水域における水質汚濁防止について協力を実施する」

### 日本の水環境政策協力

平成18年度

『水質汚濁等問題解決に向けた調査等支援事業』開始(日中共同調査)  
・中国北部の流域における水質汚染状況を中心とした環境状況調査  
・水環境に係る課題分析

平成19年度

・長江流域等における水環境管理上の課題調査・分析及び18年度調査結果も含めた政策提言  
・分散型污水处理施設の評価及び導入の検討  
・水環境管理に関するフォーラム、政策対話の実施

工場等の点源からの排水対策の他、飲用水源地周辺地域等の面源汚染対策等も含めた、総合的な流域の水環境管理による抜本的な水質改善が重要

### 日本の経験や技術を活かした今後の協力の方向性

#### 工場排水対策

・規制の適切な運用  
・総量規制の導入  
・工場の管理体制の構築等の検討に係る協力

【政策対話による協力】

#### 生活排水対策

・中国において下水道整備が適さない地域等における生活排水対策の促進策等の検討に係る協力

【政策対話及び実証調査による協力】

中国における河川、湖沼、地下水等の水環境保全の推進

## 日中水環境パートナーシップ

中国では、水質汚濁問題が喫緊の課題。

平成19年4月の日中環境保護共同声明においては、第一項目に水質汚濁防止について協力を実施することが謳われている。

これを受け、農村地域等における分散型排水処理モデル事業協力実施に関する覚書を締結。

### 【事業概要】

農村地域等に適した分散型生活排水処理技術の導入実証モデル事業やモデル事業等で検討した生活排水処理技術の普及促進方策の検討等を行う。

特に、モデル事業については、20年度から開始した重慶市、江蘇省のモデル地域に加え、新たに2カ所程度のモデル地域を選定し、実証を行う。



- ・処理施設の建設(集落単位)
- ・評価と効果分析、管理指針等の研究

(地域に適応した分散型排水処理施設例)



礫間接触酸化法



回転円板処理法



散水ろ床処理法



階段式水路処理法

